

Title	編集後記
Sub Title	
Author	前原, 光雄(Maehara, Mitsuo)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1951
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.24, No.9/10 (1951. 10) ,p.172- 172
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	林毅陸先生追悼記念號
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19511015-0172

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

林先生が逝かれて一年近くなる。告別式の日は晴天であつたが寒い日であつて、式場に足ぶみしながら立つていたことを想い出す。先生を記念するために追悼號を出そうという話は、今年になつてから間もなく、本誌編輯委員の間に持ち上つたが、ようやく十月上旬に發行せられることになつた。

この追悼記念號の執筆者は先生の同僚としての板倉先生を始めとし、先生に親しく教えをうけた者が中心となつてゐる。先生は歐洲外交史を擔當せられていた關係上、法律科に在籍した私は親しく先生の講筵に侍する機會をもたなかつたのであるが、助手として學校に残ることゝなつた私はむしろ卒業の後に、直接、間接に先生の御指導をうける機會を得て屢々先生の濶容に接し得たことは幸であつた。先生の威あつて猛げからざるところの容姿と、清くて濶み

のある音聲は、先生に親しみを覚えさせた。軟かで、よく通り、親しみを感じます先生の音聲は、聞く人をして恍惚たらしめる力をもつていた。聲が人に與える力は輕視できないものである。ラヂオの先生の講演が非常な好評を博した理由の一つもその音聲によるものであると私は信じてゐる。先生は非常に旺盛な學究心をもつて終始された。最後の病床に臥せられるまで、その年來の研究を續けられた。「最近歐洲外交史」(A5七二〇頁、慶應出版社發行)は戰爭中の困難にも屈せずひたすら研究に邁進せられ、齡は古稀を過ぎて發表せられた力作である。洵に頭が下がる思いがする。これはわれわれ後學者を督勵する鞭として受けとるべきものと思ふ。

ともあれ、ここに法學研究の約三號分に當る内容を盛つた追悼記念號の發行せられたことを喜ぶと同時に、この追悼號のためにわざわざ執筆して下さつた板倉、及川の兩先生および同僚諸兄に、編輯委員を代表して衷心感謝を捧げる。

(二六・一〇・二)

前 原 光 雄